

# 北興化学工業株式会社

---

2025年11月期 第3四半期  
決算補足説明資料

2025年10月10日

東証スタンダード 証券コード4992



# I 2025年11月期 第3四半期決算 ハイライト

## &lt; 1. 連結業績 ①概況 &gt;

## ➤ 売上高

農薬事業における販売が伸長(前年同期比+2,216百万円)したことから、41,578百万円、前年同期比2,317百万円(+5.9%)の増収

◆農薬事業は、これまでの普及推進活動の成果に加え、米価上昇やカメムシの発生予察情報による防除意欲の高まりなどにより、国内販売は水稻剤、園芸剤ともに好調に推移。海外販売も中南米向け(メキシコ等)の受注増加により、増収

◆ファインケミカル事業は、樹脂分野等が海外経済減速や価格競争の影響を受け減少したものの、医農薬分野の回復等や、電子材料分野の受注増により、増収

◆繊維資材事業は、主に産業用繊維素材の販売が増加したことにより、増収

## ➤ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

営業利益は、農薬事業の売上高増加や利益率改善により、4,846百万円、前年同期比379百万円(+8.5%)の増加。

経常利益は、為替差損(64百万円)の計上はあったものの、5,580百万円、前年同期比330百万円(+6.3%)の増加。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,127百万円、投資有価証券売却益(345百万円)の計上により

前年同期比419百万円(+11.3%)の増加

## 売上高

<前年同期比>  
+2,317(+5.9%)

39,261 41,578

24/8

25/8

## 営業利益

<前年同期比>  
+379(+8.5%)

4,468 4,846

24/8

25/8

## 経常利益

<前年同期比>  
+330(+6.3%)

5,250 5,580

24/8

25/8

## 四半期純利益

(単位:百万円)

<前年同期比>  
+419(+11.3%)

3,708 4,127

24/8

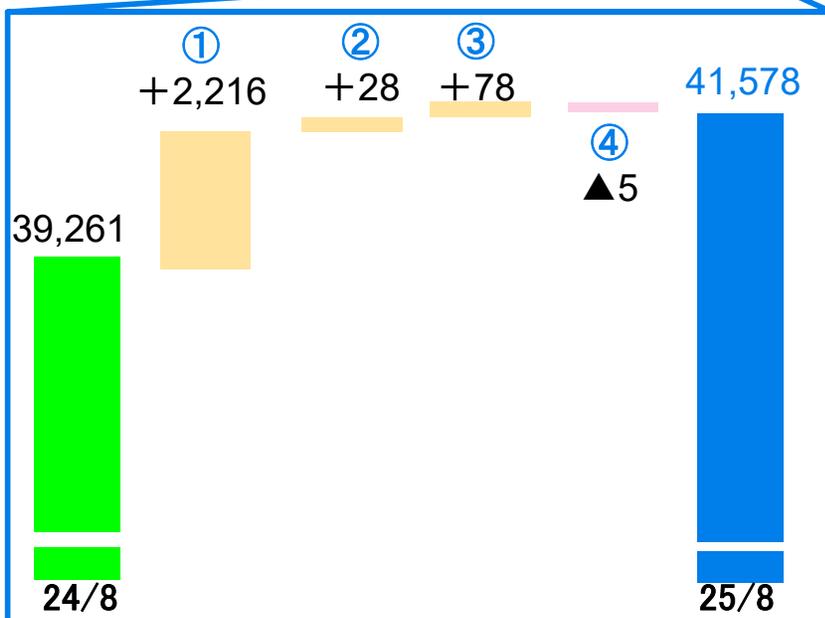
25/8



< 1. 連結業績 ②売上高 増減要因 >

(単位:百万円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年同期比
① 農薬事業	24,830	27,046	+2,216
② ファインケミカル事業	13,067	13,095	+28
③ 繊維資材事業	1,354	1,432	+78
④ その他	10	5	▲5
合計	39,261	41,578	+2,317



①農薬事業 +2,216百万円 増収

- ・国内販売+2,079百万円
- ・海外輸出+123百万円
- (以上、単体)

②ファインケミカル事業 +28百万円 増収  
増加

- ・医農薬分野+1,646百万円  
(有償支給額控除前+2,043百万円)
  - ・電子材料分野+445百万円
- 減少
- ・樹脂分野▲1,402百万円  
(以上、単体)
  - ・中国子会社▲45百万円

※詳細はP8を参照

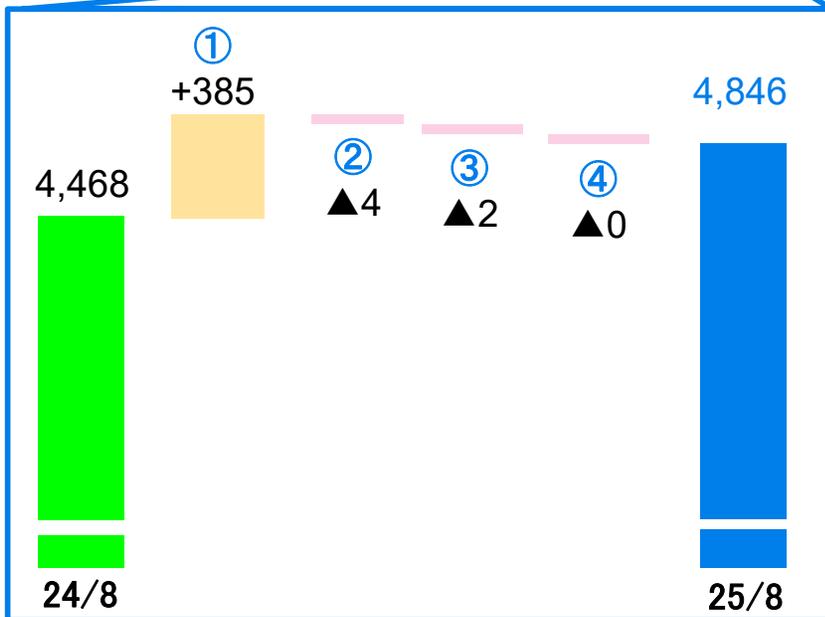
③繊維資材事業 +78百万円 増収  
主に産業用繊維素材の販売が増加

④その他 ▲5百万円 減収

< 1. 連結業績 ③営業利益 増減要因 >

(単位:百万円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年同期比
① 農薬事業	1,259	1,644	+385
② ファインケミカル事業	3,156	3,151	▲4
③ 繊維資材事業	61	59	▲2
④ その他	▲9	▲9	▲0
合計	4,468	4,846	+379



① 農薬事業 +385百万円

\*1:P11参照

売上高の増加や利益率改善\*1(生産数量増による固定費比率低減)により**増益**

(単位:百万円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期
営業利益	1,259	1,644
受取手数料*2 (営業外収益)	209	227
受取手数料込 営業利益	1,468	1,871

\*2:製品の普及拡大支援のため仕入れ先から受け取る手数料。経営管理上、営業利益に加算して管理。

② ファインケミカル事業 ▲4百万円

中国子会社の減益の影響があったものの、医農薬分野等の売上高の増加により、概ね前年同期並みの水準

③ 繊維資材事業 ▲2百万円

退職給付費用の増加により**減益**

④ その他 ▲0百万円

<参考> 営業利益の連単差

2025年度 369百万円(連結4,846-単体4,478)

2024年度 638百万円(連結4,468-単体3,830)

前期比 ▲269百万円

※主に中国子会社の減益が要因

(参考)中国子会社の前年度は、石化用触媒(TPP)のスポット需要があった。

<2. 連結業績:セグメント別>

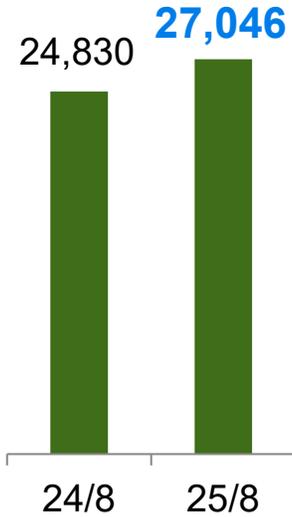
(単位:百万円)

【農薬事業】

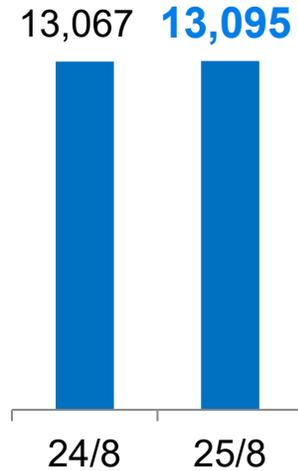
【ファインケミカル事業】

【繊維資材事業】

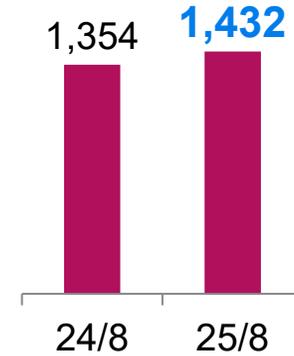
売上高



<前年同期比>  
+2,216  
(+8.9%)

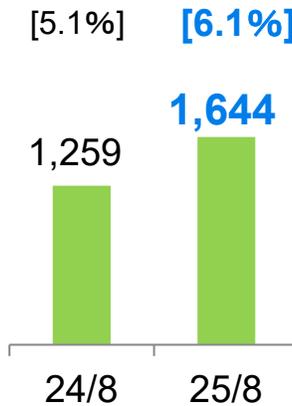


<前年同期比>  
+28  
(+0.2%)

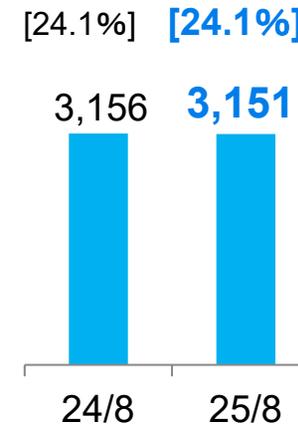


<前年同期比>  
+78  
(+5.7%)

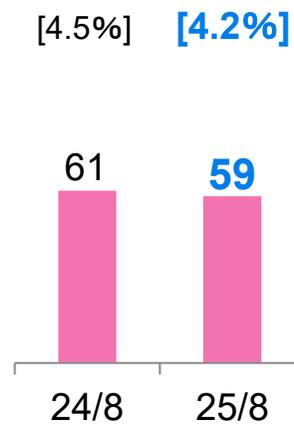
営業利益



<前年同期比>  
+385  
(+30.6%)



<前年同期比>  
▲4  
(▲0.1%)



<前年同期比>  
▲2  
(▲3.2%)

※営業利益額上方のカッコ内の%表示は、営業利益率

## <2. 連結業績:セグメント別 ①農薬事業トピックス>

### 国内販売

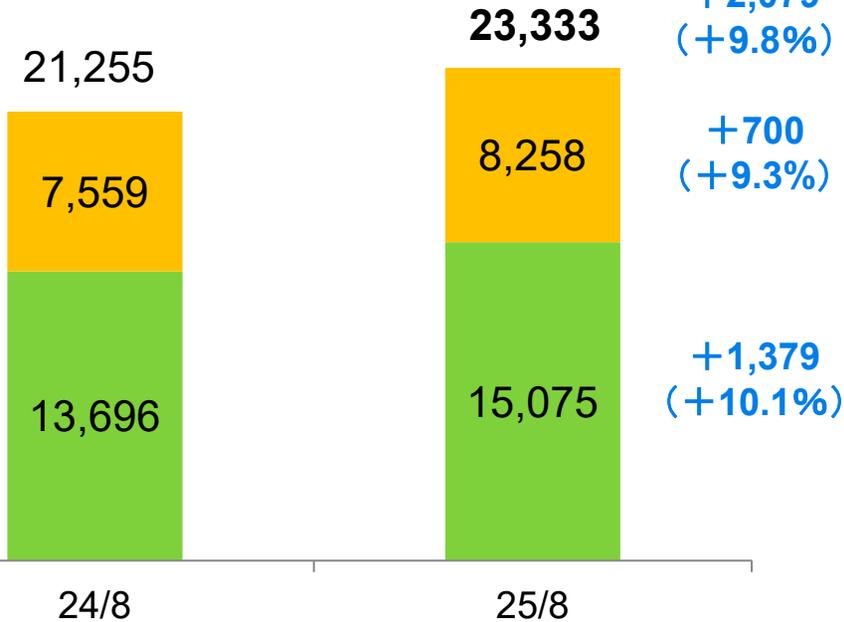
水稲剤、園芸剤(特に除草剤ザクサ液剤)の販売がともに好調に推移し、**増収**  
 水稲剤においては、米価上昇やカメムシの発生予察情報による防除意欲の高まりが後押しした

### 海外輸出

中国経済減速の影響を受け中国向けが減少したものの、前朝天候不順の影響を受けたメキシコ向けの回復など、中南米向けを中心に堅調に推移し、**増収**

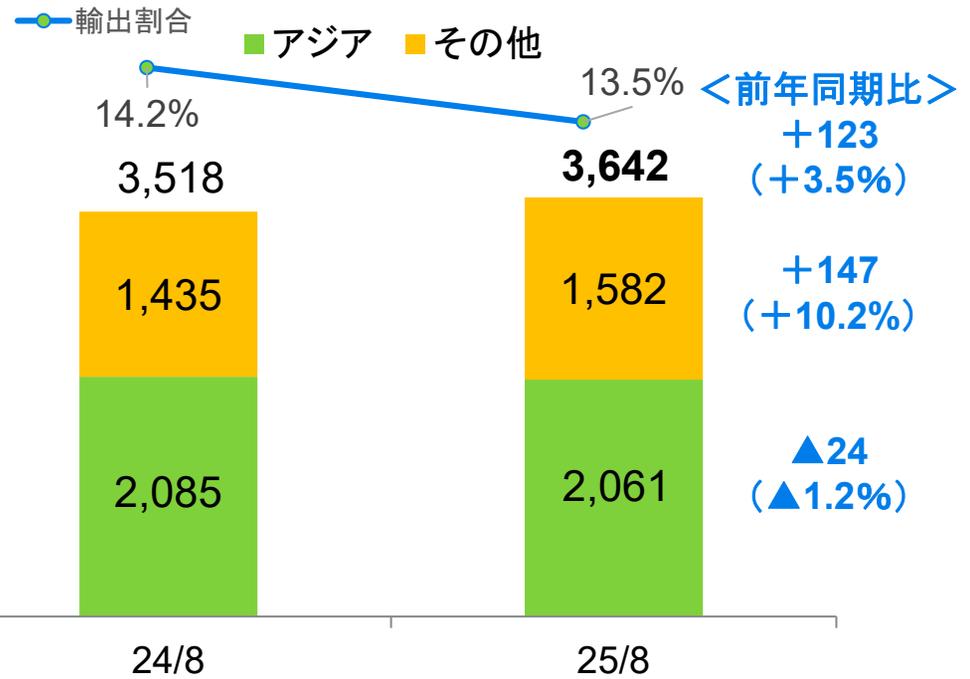
国内販売(単体)

■水稲 ■園芸



海外輸出(単体)

(単位:百万円)

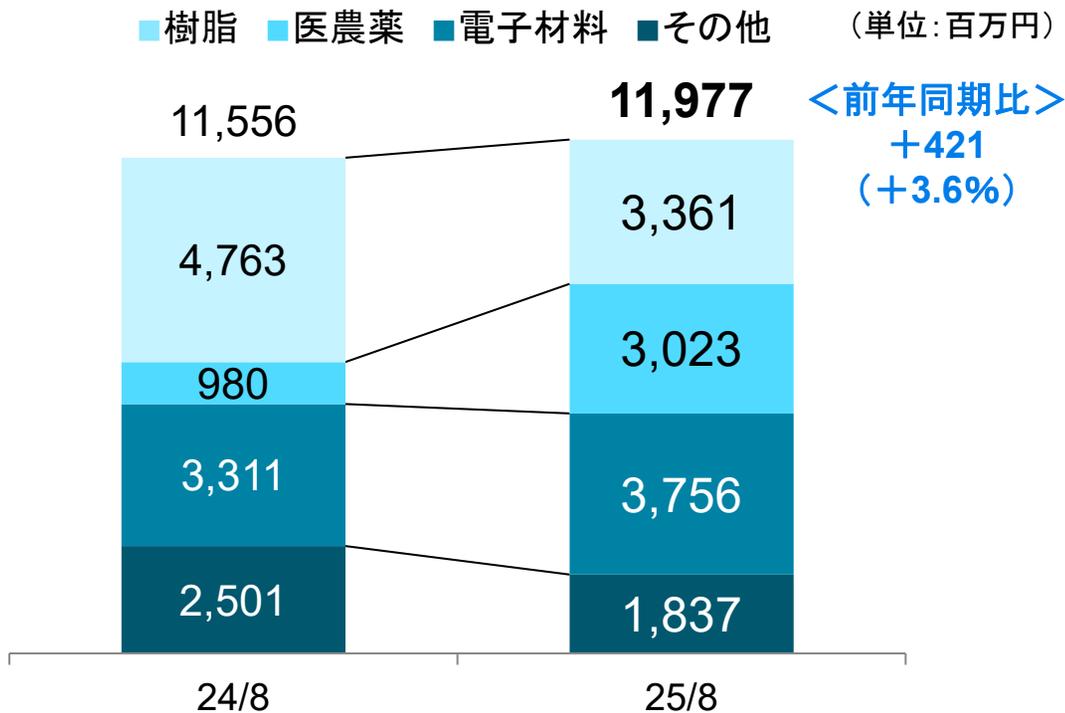


\*上記の水稲・園芸別売上高は、国内農薬の総売上高比率により算出した、経営管理上の数値です

## <2. 連結業績:セグメント別 ②ファインケミカル事業トピックス>

- 樹脂分野は、海外経済減速や価格競争の影響を受けて需要が減少し、前期の韓国向けスポット需要(石化用触媒)の剥落もあり、減少
- 医農薬分野は、農薬の需要回復(前期は取引先の需要変動により減少)に加え、前期新規受託品(医薬、農薬)の受注も寄与し、増加
- 電子材料分野は、生成AI向け原料の受注増などにより、増加。KrF向け原料は取引先の在庫調整の影響が続いている

### 分野別売上高(単体)



### <主な前年同期比増減内容>

- ◆樹脂分野: ▲1,402百万円(▲29.4%)
  - ・石化用触媒(主にTPP): ▲722
  - ・その他樹脂原料: ▲611 (塗料、コーティング剤等)
- ◆医農薬分野: +2,043百万円 (+208.5%) (原料および中間体)
  - ・医薬: +593
  - ・農薬: +1,450
- ◆電子材料分野: +445百万円(+13.4%)
  - ・半導体関係: ▲14(半導体封止剤用の硬化促進剤)
  - ・フォトレジスト用のモノマー原料: +187 (うち、KrF向け▲324、生成AI向け+593)
  - ・その他: +300(プリンター感光材、オフセット印刷用等)
- ◆その他: ▲665百万円(▲26.6%)
  - ・食品飼料: ▲279 (TPP:ビタミンA、ベータカロチン用途等)
  - ・防汚剤: ▲298
  - ・エネルギー: ▲32

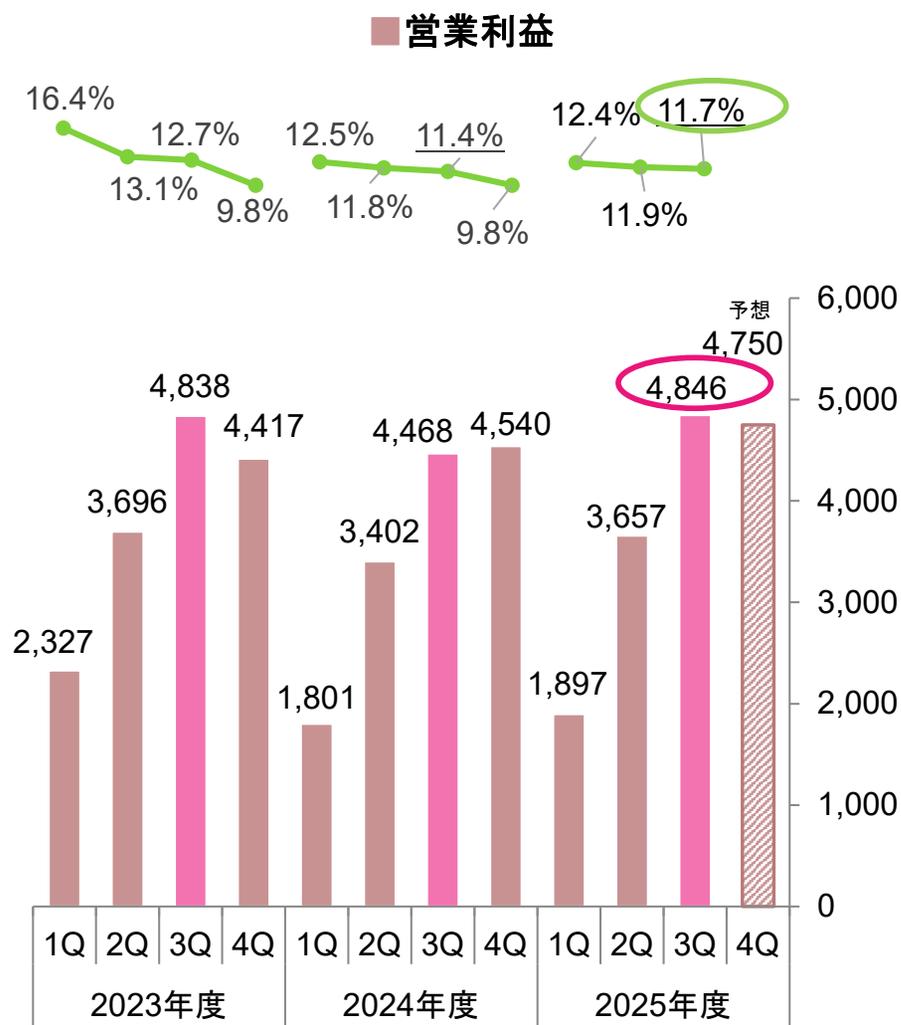
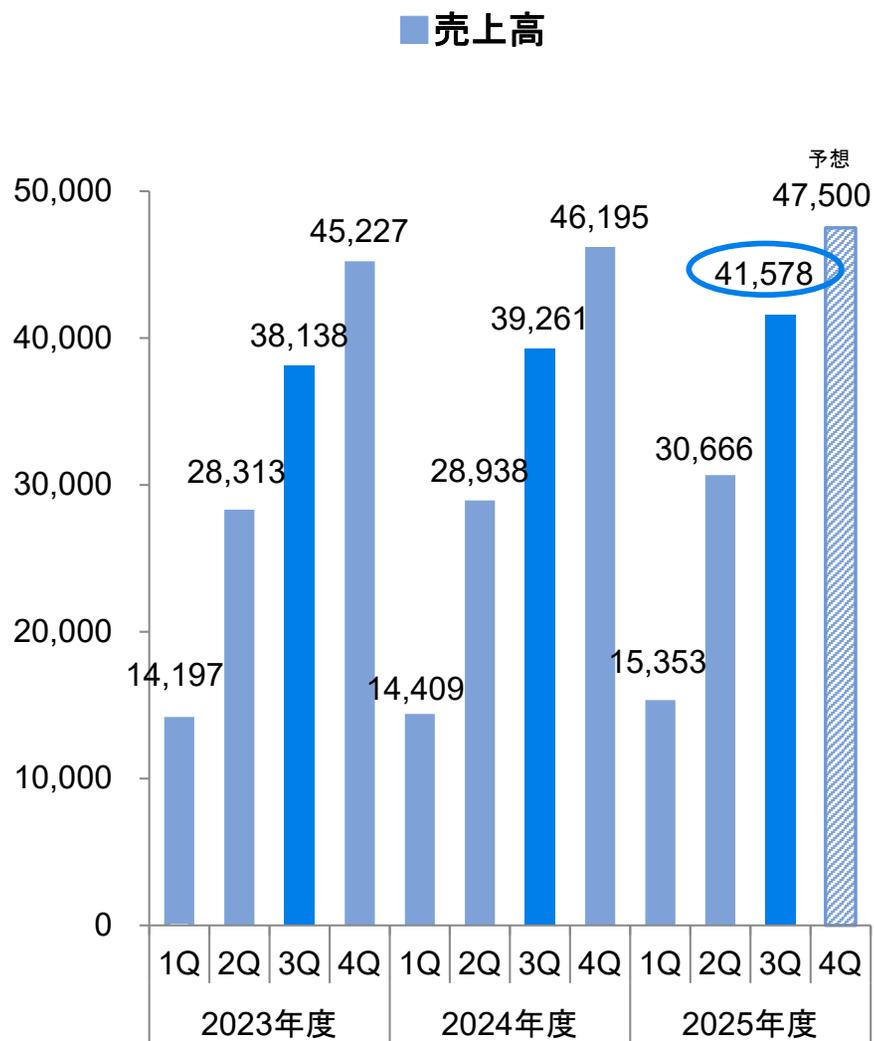
\*分野別 … 総売上高を当社の判断により各分野に分類しております。なお、上記総売上高には、収益認識に関する会計基準により売上高から控除される有償支給額等(2024/8月:0百万円、2025/8月:397百万円)が含まれております。

# Ⅱ 【参考資料】

## 2025年11月期 第3四半期決算 データ編

# <1. 連結業績の進捗状況>

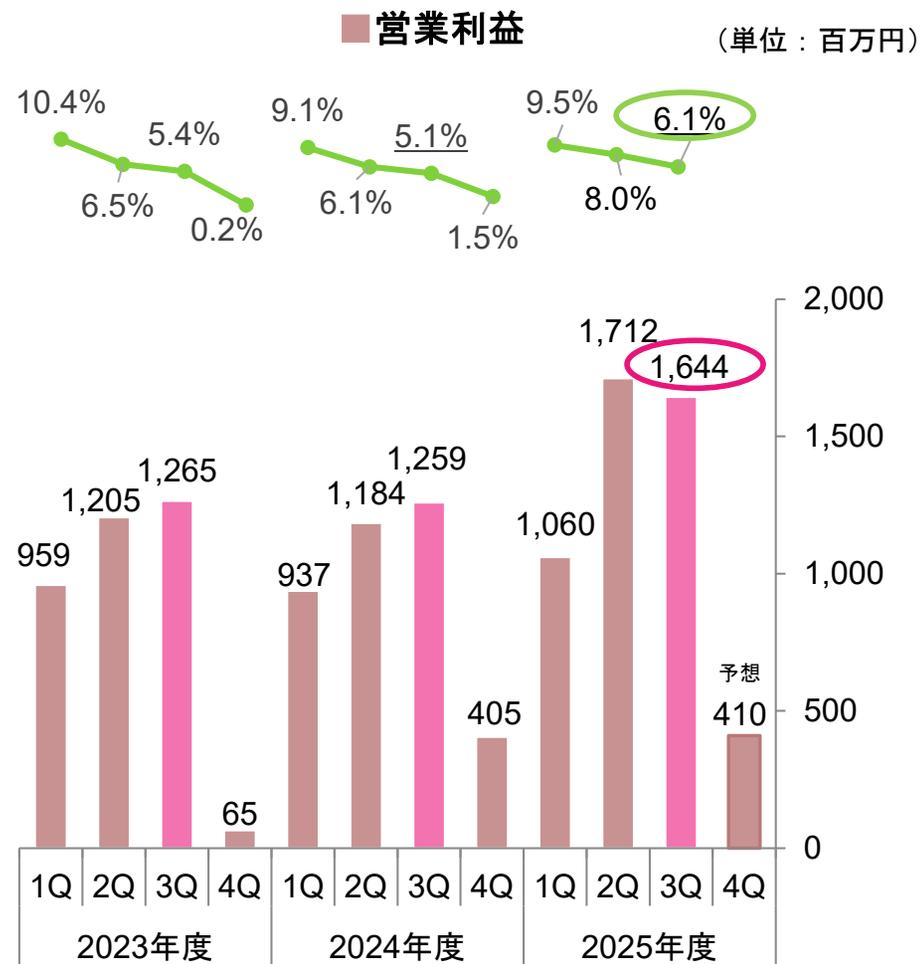
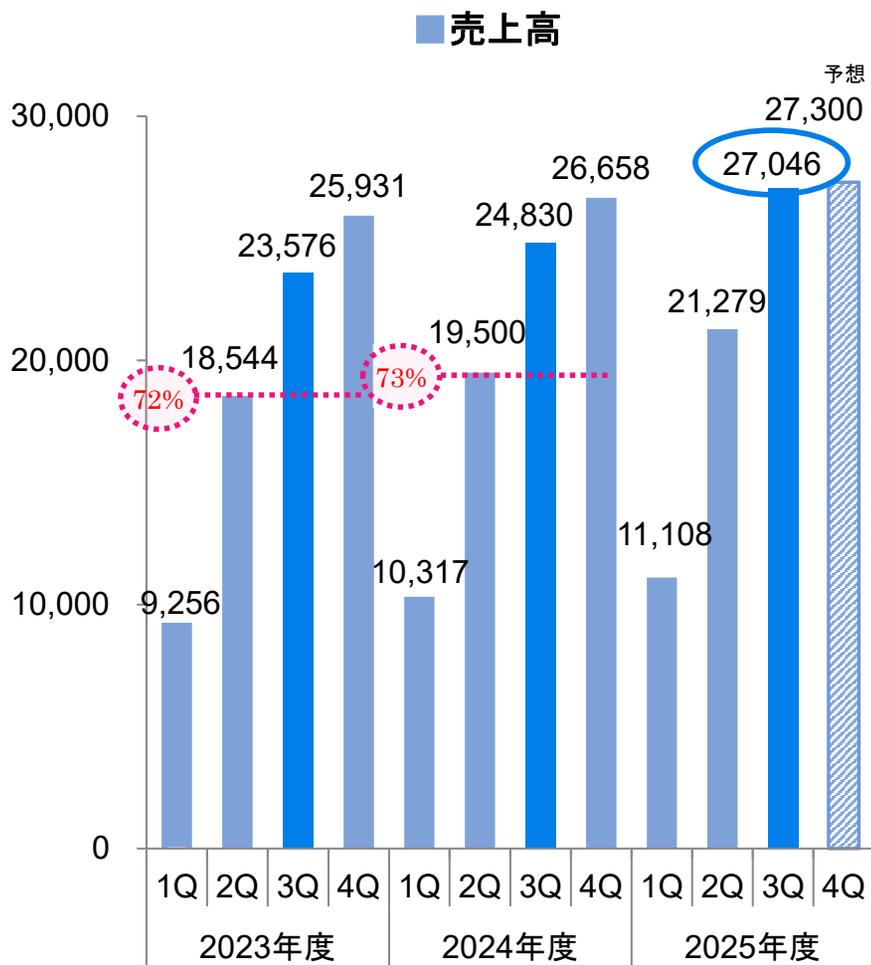
※金額は各四半期時点における累計値  
(単位：百万円)



## ＜2. 連結セグメント別業績推移 ①農薬事業＞

※金額は各四半期時点における累計値

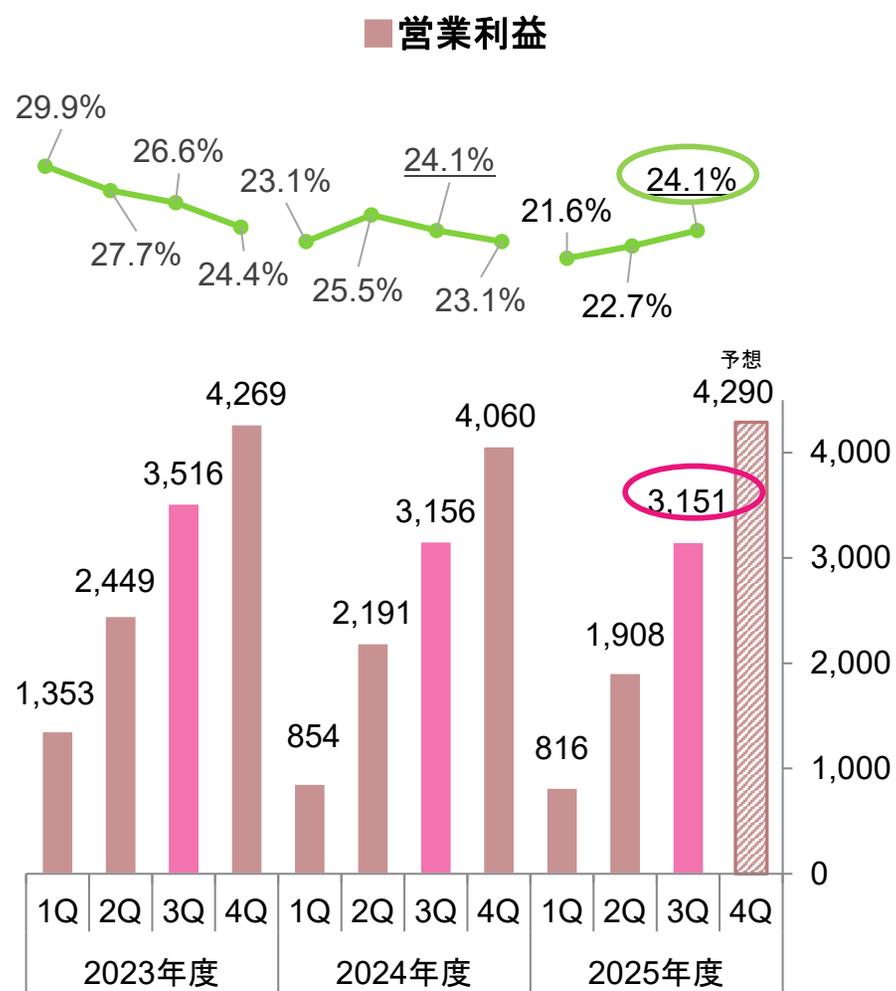
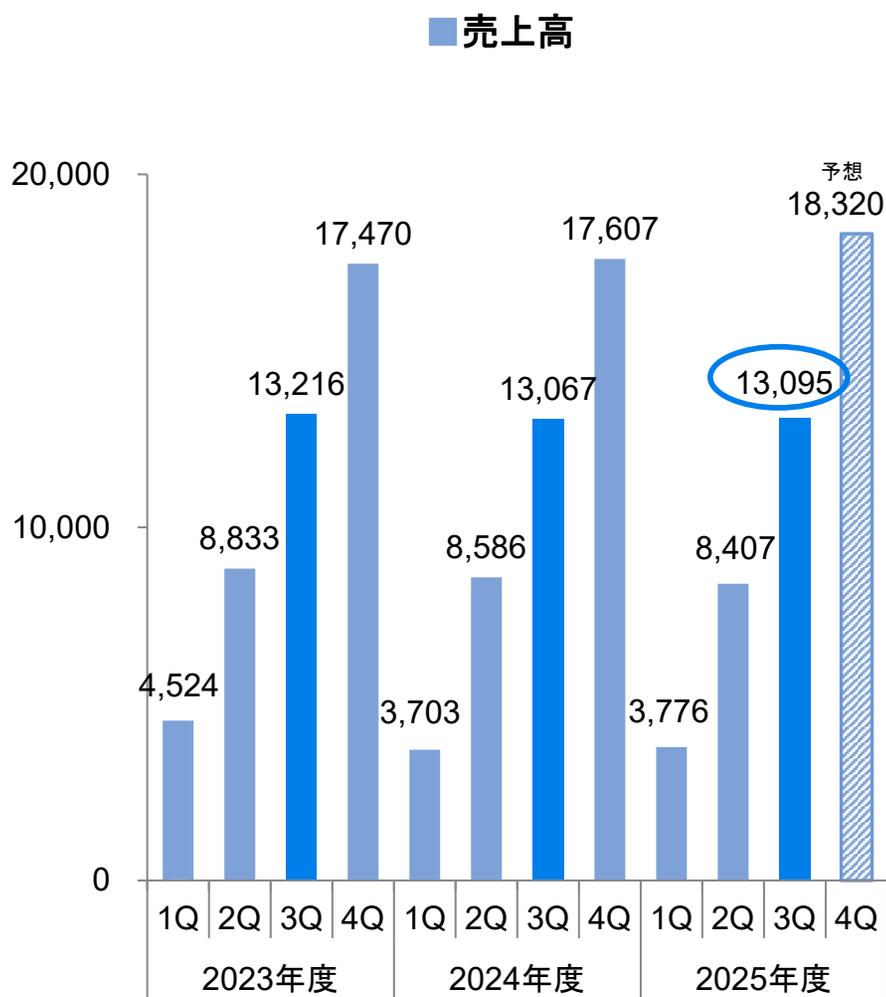
国内農薬の販売は第1～第2四半期が主に予約販売(主に水稻剤)となり、同期間の売上高は年間売上高の約7割を占めている。第3四半期以降の農作業期(6月～9月頃まで)は、当用販売が中心となる。



## <2. 連結セグメント別業績推移 ②ファインケミカル事業>

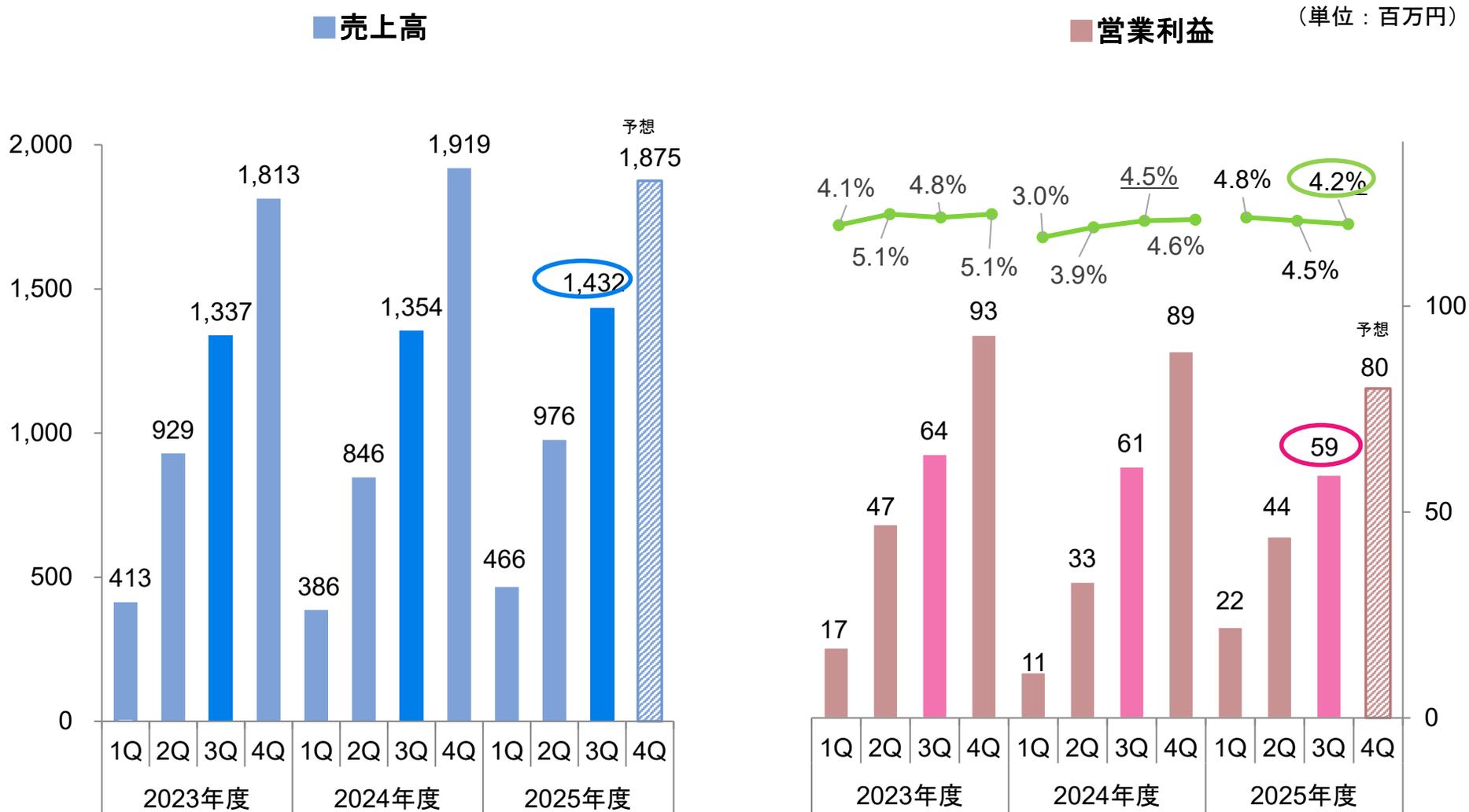
※金額は各四半期時点における累計値

(単位：百万円)



## <2. 連結セグメント別業績推移 ③繊維資材事業>

※金額は各四半期時点における累計値



## <2. 連結セグメント別業績推移 ④四半期毎>

### 第3四半期(6~8月)

- 農薬事業は、国内販売が引き続き堅調に推移したが、原体再評価・新製剤開発に伴う研究開発費の増加などにより、減益
- ファインケミカル事業は、医農薬分野、電子材料分野の売上高増加により、増益

(単位:百万円)

〔①2025年度〕

〔②2024年度〕

〔①-②前年同期比〕

セグメント	項目	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	(参考) 4Q	1Q	2Q	3Q	3Q累計
農薬事業	売上高	11,108	10,171	5,767	27,046	10,317	9,183	5,330	24,830	1,828	+791	+988	+437	+2,216
	営業利益 (利益率)	1,060 (9.5%)	652 (6.4%)	▲68 (▲1.2%)	1,644 (6.1%)	937 (9.1%)	247 (2.7%)	75 (1.4%)	1,259 (5.1%)	▲854 (▲46.7%)	+123 (+0.5%)	+405 (+3.7%)	▲143 (▲2.6%)	+385 (+1.0%)
ファインケミカル事業	売上高	3,776	4,631	4,688	13,095	3,703	4,883	4,481	13,067	4,540	+74	▲252	+207	+28
	営業利益 (利益率)	816 (21.6%)	1,092 (23.6%)	1,244 (26.5%)	3,151 (24.1%)	854 (23.1%)	1,337 (27.4%)	964 (21.5%)	3,156 (24.1%)	904 (19.9%)	▲38 (▲1.5%)	▲245 (▲3.8%)	+279 (+5.0%)	▲4 (▲0.1%)
繊維資材事業	売上高	466	510	456	1,432	386	460	508	1,354	564	+81	+49	▲52	+78
	営業利益 (利益率)	22 (4.8%)	22 (4.3%)	15 (3.3%)	59 (4.2%)	11 (3.0%)	22 (4.7%)	29 (5.6%)	61 (4.5%)	27 (4.8%)	+11 (+1.9%)	+0 (▲0.4%)	▲13 (▲2.3%)	▲2 (▲0.4%)

### <3. 連結業績予想対比の進捗状況>

#### <進捗状況>

業績予想に対する第3四半期の進捗率は、売上高、各利益段階において前年同期を上回った

#### [2025年度]

#### <参考：前年同期>

(単位：百万円)

	2025年度 第3四半期	2025年度 業績予想	進捗率		2024年度 第3四半期	2024年度 年間実績	進捗率
売上高	41,578	47,500	87.5%	売上高	39,261	46,195	85.0%
営業利益 (売上高比)	4,846 (11.7%)	4,750 (10.0%)	102.0%	営業利益 (売上高比)	4,468 (11.4%)	4,540 (9.8%)	98.4%
経常利益 (売上高比)	5,580 (13.4%)	5,700 (12.0%)	97.9%	経常利益 (売上高比)	5,250 (13.4%)	5,691 (12.3%)	92.3%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	4,127 (9.9%)	3,850 (8.1%)	107.2%	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	3,708 (9.4%)	4,006 (8.7%)	92.3%

本資料に記載されている業績予想・将来の見通しに関する記述等に関しましては、現時点で得られた情報に基づいて判断・算定したものであり、実際の業績は、今後のマクロ経済動向および市場環境、並びに当社グループに関連する業界動向、またその他内部・外部要因等、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

北興化学工業株式会社

企画部 IR担当

電話：03－3279－5151

FAX：03－3279－5195